

公益社団法人日本ライフル射撃協会 2025 年度第 5 回理事会議事録

日時：2026 年 2 月 21 日（土）13：30～16：00

場所：ジャパンスポーツオリンピックスクエア会議室 8 及びオンライン会議（Zoom）

議長：横山幸子副会長（橋本会長欠席のため代行）

出席者

対面出席者（理事 19 名、監事 1 名）

横山幸子副会長、平眞副会長兼専務理事、田中僚一郎副会長、平井宏治常務理事、高橋信吾常務理事、成山悟史常務理事、酒寄貴瀬常務理事、松島愛常務理事、寺澤良悦理事、武川正一理事、割田好則理事、尾崎和郎理事、仲本渚理事、五十嵐治人理事、栗生由紀理事、成瀬兼人理事、穂苅美奈子理事、北川和徳理事、小高左起子理事、平塚晶人監事

オンライン出席者（理事 4 名、監事 1 名）

三木容子常務理事、小川直人理事、大木盛義理事、山下敏和理事、永谷喜一郎監事（審議事項終了後退出）

欠席者（理事 3 名）

橋本聖子会長、田口亜希常務理事、吉岡大理事

出席総数

理事 23 名（理事総数 26 名中）、監事 2 名（監事総数 2 名中）。

そのほか佐橋朋木理事待遇、門間健一理事待遇（オンライン）、岡田亜美理事待遇、深澤佑樹理事待遇、事務局が出席。

平眞副会長兼専務理事が 13 時 30 分に理事 23 名出席で理事会が成立するとの宣言をした。事務局が、オンライン会議システムにより、出席者の音声が即時に双方向に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認して議案の審議に入った。

会長挨拶要旨

橋本会長はミラノ・コルティナオリンピックへの出張により欠席のため、挨拶は省略された。横山副会長が議長を代行し、速やかに議事に入った。

審議事項

1. 総務委員会

1.1 2026 年度予算

説明者：高橋信吾総務委員長

資料：2026 年度予算

説明内容：

経常収益計 2 億 1,066 万 6,500 円に対し、経常費用計 2 億 1,916 万 7,270 円であり、

当期経常増減額はマイナス 850 万 770 円の赤字予算である。JOC 補助金の減額により選手強化事業収入が 1,032 万円減少した。ただし、前年度の赤字スタートからは 275 万円の改善となっている。今後、東アジアユースエアガン大会の組織委員会参画やアジア大会テストイベントの補助金額が判明した段階で補正予算を編成し、5 月の理事会に提出する方針である。

審議結果：議長が理事会に諮り、2026 年度予算について、補正予算を組む前提で案のとおり承認された。

1.2 2026 年度事業計画活動方針

説明者：高橋信吾総務委員長

資料：2026 年度事業計画活動方針

説明内容：

基本的な活動方針に変更はなく、前年度と同様である。JRSF 将来構想に基づく「アスリートの育成」「競技の普及」「社会貢献」の 3 つの役割を引き続き柱とする。

審議結果：議長が理事会に諮り、2026 年度事業計画活動方針について、案のとおり承認された。

1.3 2026 年度資金調達及び設備投資の見込み

説明者：高橋信吾総務委員長

資料：2026 年度予算

説明内容：

同資料に記載された「2026 年度資金調達及び設備投資：予定なし」の項目について、2026 年度においては資金調達及び設備投資の予定はない。

審議結果：議長が理事会に諮り、2026 年度予算書の収支予算書及び資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について審議の上、案のとおり理事会によって承認された。

1.4 本会会員資格の確定時期の明確化

説明者：高橋信吾総務委員長

資料：本会会員資格の確定時期の明確化

説明内容：

会費が未納のままシステム申請されている状態を防ぐため、会員資格は「会費の支払いが完了していること」および「新システム『シューターズ』上での会員登録が完了していること」の 2 つが満たされた時点で確定すると明確化する。競技会参加資格についてもこれに準ずる。

審議結果：議長が理事会に諮り、本会会員資格の確定時期の明確化について、案のとおり承認された。

2. 推薦委員会

審議事項なし

3. 国スポ委員会

3.1 2026 年度青森国スポ大会（弘前市・青森市）中央派遣役員名簿案

説明者：平井宏治国スポ委員長

資料：2026 年度青森国スポ大会中央派遣役員名簿案

説明内容：

アジア大会等と時期が重なるため、通常（東日本・中日本・西日本から各 1 名）どおりの役員選出ができていない。今後、候補者に予定を確認するため、名簿案から変更が生じる可能性がある。

審議結果：議長が理事会に諮り、変更の可能性があることを含みとして、案のとおり承認された。あわせて、変更が生じた場合の対応については国スポ委員会に一任することが承認された。

3.2 2026 年度国スポリハ大会（宮崎市）中央派遣役員名簿案

説明者：平井宏治国スポ委員長

資料：2026 年度国スポリハ大会中央派遣役員名簿案

説明内容：

宮崎国スポリハ大会の中央派遣役員名簿案である。こちらも候補者に予定を確認中であり、変更の可能性がある。なお、資料中の用具検査ジュリーについて、沼田愛（富山）から肥沼雄大（福島）に訂正がある旨報告があった。

審議結果：議長が理事会に諮り、上記訂正を反映のうえ、変更の可能性があることを含みとして、案のとおり承認された。あわせて、変更が生じた場合の対応については国スポ委員会に一任することが承認された。

3.3 国スポ施設基準（日ラ案）

説明者：平井宏治国スポ委員長

資料：国スポ施設基準（日ラ案）

説明内容：

本案は、2022 年度第 1 回理事会で承認し日本スポーツ協会に提出したものの、日本スポーツ協会が後催県へヒアリングを行ったところ後催県のうち 1 県が承認をしなかったため、2023 年度第 2 回理事会にて変更見送りの報告を受けた内容と同一である。今回、日本スポーツ協会より改めて同案の提出要請があったため、再提出するものである。

審議結果：議長が理事会に諮り、国スポ施設基準（日ラ案）について、案のとおり承認された。

4. 選手強化委員会

4.1 オリンピック競技大会等国際競技大会出場資格管理体制について

説明者：佐橋朋木選手強化委員長

資料：オリンピック競技大会等国際競技大会出場資格管理体制について

説明内容：

ミラノ・コルティナオリンピックのボブスレー競技での出場資格管理不備の事案を受け、JOC よりルール of 再確認と管理体制の強化が通達された。選手強化スタッフに一任せず、理事会が関与する体制へ変更する。具体的には、理事会での報告、選手への Slack を通じた説明、ホームページでの掲出を徹底する。

また、2028 年ロサンゼルスオリンピックの選考システムにおいて、出場枠は 340 名で維持されたが、MQS（基準点）が復活し、出場権の再配分ルールが「国として 1 つで

も出場枠を持っていれば再配分されない」と変更された。さらに、競技フィールドに入れるコーチが ISSF 公認コーチに限定されるため、現在 6 名分の資格を申請中である。

質疑応答等：

松丸名誉会長からのアジア大陸の QT 配分が増えたかとの質問に対し、佐橋委員長は若干増えたと回答した。また、松丸名誉会長からコーチ資格の有無について質問があり、佐橋委員長は、過去の実績でコーチ資格を付与する制度が新設され、現在 6 名を申請中で間もなく承認される見込みであると説明した。

審議結果：議長が理事会に諮り、オリンピック競技大会等国際競技大会出場資格管理体制について、案のとおり承認された。

5. 競技運営委員会

5.1 日本記録公認の件

説明者：杉崎礼子記録部会長

資料：日本記録公認の件

説明内容：資料記載のとおり、日本記録の公認を求める。

審議結果：議長が理事会に諮り、日本記録の公認について、案のとおり承認された。

5.2 公認審判承認の件

説明者：三木容子競技運営委員長

資料：公認審判承認の件

説明内容：加盟団体から申請があった公認審判員について精査した結果の承認を求める。

審議結果：議長が理事会に諮り、公認審判の承認について、案のとおり承認された。

5.3 2026 年度事業計画案

説明者：三木容子競技運営委員長

資料：2026 年度事業計画案

説明内容：12 月の理事会で確認した内容に、新しく決定した事項を反映させた事業計画の最終版である。

審議結果：議長が理事会に諮り、2026 年度事業計画案について、案のとおり承認された。

5.4 次世代機器プロジェクト方針提案

説明者：三木容子競技運営委員長、田中僚一郎副会長

資料：次世代機器プロジェクト方針提案

説明内容：

「REDDOT」という共通規格に基づく、赤色レーザーを利用した電子標的システムを次世代機器として公認する方針である。この規格に則っていれば、異なるメーカーの標的と銃を組み合わせて競技ができ、実銃に近い体験が安価に可能になる。着弾位置が画像として記録される点が従来のビームライフル等と大きく異なる。

質疑応答等：

松丸名誉会長からの標的の基準を統一すれば銃は選手が様々なものを使えるのかとの質問に対し、田中副会長は、実銃の世界と同じように異なるメーカーの銃が混在する

形で競技運用が可能になると説明した。

審議結果：議長が理事会に諮り、次世代機器プロジェクト方針提案について、案のとおり承認された。

5.5 2026 年新ルール適用について

説明者：三木容子競技運営委員長

資料：2026 年新ルール適用について

説明内容：

ISSF が 2026 年 1 月 1 日付で発行した新ルールについて、国内では 4 月以降の G1・G2 競技会において原則として適用する。G3・G4 競技会への適用は各加盟団体の判断に委ねる。主な変更点は三姿勢のファイナルやミックスチームのタイムスケジュール等である。

審議結果：議長が理事会に諮り、2026 年新ルール適用について、案のとおり承認された。

5.6 協会システムの変更に伴う規程類の文言変更について

説明者：三木容子競技運営委員長

資料：協会システムの変更に伴う規程類の文言変更について

説明内容：

協会システムが「日ラネット」から「シューターズ」に変更されたことに伴い、各規程内の「日ラネット」という固有名詞を一般的な表現に変更する。

審議結果：議長が理事会に諮り、協会システムの変更に伴う規程類の文言変更について、案のとおり承認された。

5.7 競技記録公認規程について

説明者：三木容子競技運営委員長

資料：競技記録公認規程について

説明内容：ミックスチームの記録の取り扱いなど、これまで明記されていなかった記録の取り扱いに関する 4 点の規程変更を行う。

審議結果：議長が理事会に諮り、競技記録公認規程の変更について、案のとおり承認された。

5.8 ゲージの認定について

説明者：三木容子競技運営委員長

資料：ゲージの認定について

説明内容：

ピストルの基準箱（検定箱）の認定と、新しい 50m スモールボアライフルの公認申請が出されている。スモールボアライフルについてはオフィシャルサプライヤー契約の整備が完了していないため、事務局の提案により 5 月の理事会へ先送りとし、今回は基準箱の認定のみを行う。

審議結果：議長が理事会に諮り、ピストルの基準箱（検定箱）の認定について、案のとおり承認された。

6. 普及・生涯スポーツ委員会

6.1 JRSF 認定コーチの認定

説明者：成山悟史普及・生涯スポーツ委員長

資料：JRSF 認定コーチの認定

説明内容：新たに認定コーチ講習会を実施し、35 名を認定した。

審議結果：議長が理事会に諮り、JRSF 認定コーチの認定について、案のとおり承認された。

7. マーケティング委員会 審議事項なし

8. コンプライアンス委員会 審議事項なし

9. アスリート委員会 審議事項なし

10. 愛知名古屋アジア競技大会準備運営本部審議事項なし

11. 倫理委員会

11.1 倫理委員会関係

説明者：平眞副会長兼専務理事

資料：画面共有

説明内容：

加盟団体役員 3 県 3 名に対する資格停止 1 年の懲戒処分を答申する。いずれも倫理規程第 5 条（会員等の遵守事項）違反である。

（1）所属する加盟団体の会員に対し、懲戒手続及び理事会の承認を経ることなく競技会への出場停止処分を行った。

（2）所属する加盟団体の会員に対し、懲戒手続及び理事会の承認を経ることなく活動制限を行うとともに、第三者に対して会員の名誉を毀損する行為を行った。

（3）本協会通報相談窓口への内部通報に関連して、通報者に対し不利益な取扱いに該当する行為を行った。

いずれも加盟団体役員によるものであり、当該団体内での是正が行われなかったことから、本協会として処分を下すものである。

質疑応答等：

横山副会長より、加盟団体の役員が適正な手続を経ずに処分を行ったことが問題の本質であるとの発言があった。

三木常務理事より、調査にあたりどのような構成員からヒアリングを行い客観的な調査をしたのかとの質問があり、通報者や当該者だけでなく、その他の幹部や理事など複数名に面談やヒアリングを行った上で客観的な事実認定を行った旨が説明された。

松島常務理事より、内部通報した方の安全は守られるのかとの質問があり、規程に基づき不利益を受けないよう日常的かつ組織的に守っていく旨が説明された。

審議結果：議長が理事会に諮り、3 件の処分について、答申案のとおり承認された。

なお、処分決定については規程に基づきその公表を行う。

報告事項

12. 選手強化本部 報告事項なし

13. 総務委員会

13.1 【追加】代理登録者の会員証について

説明者：高橋信吾総務委員長

資料：口頭のみ（資料なし）

報告内容：

新システム「シューターズ」では電子会員証が基本となるが、スマートフォンが使えない等でシステムにアクセスできない代理登録者向けに、救済措置として紙の会員証を発行する。制度上の位置づけを明確にするため、発行費用は徴収する方針である。

13.2 【追加】JRSF 将来構想 2030

説明者：藤井彌事務局長

資料：JRSF 将来構想 2030

報告内容：先日確認された将来構想の骨組みに対し、今後デザインや写真を入れて正式な形にまとめていく予定である。

14. 推薦委員会

14.1 審査結果

説明者：田中僚一郎推薦委員長

資料：審査結果

報告内容：11 月度から 1 月度の審査結果を報告した。また、新システム移行に伴いエアピストル（AP）所持者の実態調査を行っているが、4 加盟団体から未回答であるため、早急な入力を要請した。あわせて、各ブロック理事に対しても未回答団体への働きかけを依頼した。

14.2 適格証明廃止について

説明者：田中僚一郎推薦委員長

資料：適格証明廃止について

報告内容：技能講習免除制度が機能しているため、重複する適格証明制度を 2026 年 3 月 31 日をもって完全に廃止する。本件は警察庁も了承済みである。

15. 国スポ委員会 報告事項なし

16. 選手強化委員会

16.1 H&N 結果報告

説明者：佐橋朋木選手強化委員長

資料：H&N 結果報告

報告内容：ドイツ・ミュンヘンで行われた H&N カップにおいて、野畑選手がエアライフルで 2 位に入るなどメダルを獲得した。

16.2 【差替】アジア選手権ニューデリー結果報告

説明者：佐橋朋木選手強化委員長

資料：アジア選手権ニューデリー結果報告（差替）

報告内容：インド・ニューデリーで行われたアジア選手権において、吉岡選手が世界記録で金メダルを獲得したほか、個人で 3 つ、全体で 8 つのメダルを獲得した。

16.3 2025 ワールドアビリティゲームズ

説明者：栗生由紀理事

資料：2025 ワールドアビリティゲームズ

報告内容：タイで開催された大会に次世代の育成選手を中心に派遣し、R9 種目で鈴木選手が銅メダルを獲得するなどの実績を残した。

16.4 2025WSPS アルアイン WC

説明者：栗生由紀理事

資料：2025WSPS アルアイン WC

報告内容：強化指定選手を派遣し、ロサンゼルスパラリンピックに向けた出場枠獲得の準備を進めている。

17. 競技運営委員会 報告事項なし

18. 普及・生涯スポーツ委員会

18.1 ビームみらいステージ実施について

説明者：栗生由紀普及事業部長

資料：画面共有

報告内容：

3月8日に ENEOS の支援事業として、初心者向けのビームライフル大会を NTC、大阪、高知、長崎、およびオンライン会場（全国をつなぐ形式）で開催する。参加枠に余裕があるため積極的な参加を呼びかけるとともに、東京会場での機材（ビームライフル等）が不足しているため、貸出の協力を要請した。

19. マーケティング委員会

19.1 ふるさと納税の状況とお礼状発送について

説明者：松島愛マーケティング委員長

資料：ふるさと納税の状況とお礼状発送について

報告内容：

本協会へのふるさと納税の寄付額および件数が着実に増加している。高額寄付者および継続寄付者に対しては、感謝の意を示すため橋本会長名での感謝状を発送する予定である。

20. コンプライアンス委員会

20.1 委員会運営における透明性確保について

説明者：横山幸子コンプライアンス委員長

資料：口頭のみ（資料なし）

報告内容：

委員会運営において一部の役員に権限や決定が偏らないよう決定プロセスの透明性を確保するため、委員会を実施した際には規程どおり必ず議事録を作成し、提出することを徹底するよう求めた。

20.2 個人情報取り扱いについてのご報告

説明者：藤井彌事務局長

資料：個人情報取り扱いについてのご報告

報告内容：

段級登録事務において、旧担当者のメールアドレスがメーリングリストに残存していたため、3 通のメールを誤送信し非会員 3 名の情報が漏洩した。個人情報保護委員会には報告義務非該当であると確認済みである。再発防止策として、役職変更届の受領からメーリングリストの一括更新までを一本化する手順を確立した。

21. アスリート委員会 報告事項なし

22. 愛知名古屋アジア競技大会準備運営本部

22.1 進捗状況報告

説明者：尾崎和郎 TOM、平眞副会長兼専務理事

資料：口頭のみ（資料なし）

報告内容：

2月6日 JOC/NF 合同会議が開催され、JOC による大会に関わる課題の状況確認が行われた。組織委員会からは、大会の準備状況が大幅に遅れていることを認識していることなど、これまでの取り組みの反省から、組織体制の強化（競技会場運営統括室の設置など）を図ったことが報告された。日ラとしては、宿泊関係、空港関係の課題が依然としてあることを伝えた旨が報告された。

現在の主な課題として以下の点が挙げられた。

- (1) 既存射撃場の改修工事の遅延。
- (2) 新設ファイナル射場（多目的ホール）の仕様変更と整備。
- (3) 射撃競技の大人数を収容でき、かつ平等性を担保できる宿泊ホテルが確保できていないこと。
- (4) 入国時の利用空港（セントレア以外への対応）およびそこからの輸送プランが定まらないこと。

8月5日～9日には、テストイベントとして東アジアユースエアガン大会を実施予定である。ホテルと輸送手段が決まらないため、実務全体の進行が滞っている状況であることが報告された。

23. 会務報告 報告事項なし

24. その他

報告内容：

関東ブロックより、新システム「シューターズ」に関して、高齢会員が自分で手続きできない等の使いづらさに対する改善要望書が提出された。藤井事務局長から、マニュアルの整備や加盟団体が代行して手続きを行える「チーム機能」の活用案内で対応していく旨が説明された。

以上各業務執行理事より職務執行の状況報告があった。

オンライン会議システムは終始異常なく、議事全部を終了したので、16 時 00 分に議長が閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事および監事が記名押印する。

2026 年 2 月 21 日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長・代表理事

横 山 幸 子

横 山 幸 子



代表理事

平 眞

平 眞



代表理事

田 中 僚 一 郎

田 中 僚 一 郎



監事

永 谷 喜 一 郎

永 谷 喜 一 郎



監事

平 塚 晶 人

平 塚 晶 人



以上

